

幸福感を高める 車座対話を実践

中区の催しに90人

ウエルビーイング（心身の健康や幸福）を高め合う地域や職場での対話をテーマにしたイベントが11日夜、広島市中区銀山町のコワーキングスペース（共有オフィス）「ピロマラボ」であった。

会社員や行政関係者たち約90人が参加。叡啓大（中区）の保井俊之教授が、働きがいなどの関



自分の感じる幸せや周囲とのつながりを語り合う参加者

け合った。安佐南区の会社員大谷優子さん（47）は「皆さんの語りは温かく、自分も安心して話ができ」と話していた。

企業や組織を超えて、新しい働き方や地域の未来図を考えるピロマラボの活動として開いた。

（山本洋子）

連を示す研究を紹介し「ウエルビーイングは1人では実現しない。周囲や社会とつながり、折り合おう」と強調した。

安心感の高い対話の実践として、参加者は車座になり幸福感や仲間の支えなどへの思いを打ち明